ボーリング柱状図

調　査　名　一般県道　乙瀬小方線　交通安全施設整備事業に伴う
調査設計業務委託(道路詳細設計)

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	BorNo.2	調査位置	大竹市御園2丁目地内 (No.7+4.0 R-3.7m)			北緯	34° 13' 55.5550"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成 29年 8月 29日 ～ 29年 9月 4日	東経	132° 12' 52.3600"
調査業者名		管理技術者		照査技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	19.99m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	鉛直 水平 90° 50°	使用機種	試錐機	東邦地下工機製D-1型	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	7.00m								エンジン	ヤンマー製NF110C型	ポンプ	東邦地下工機製BG3型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
	19.49	0.50	0.50		礫質土	灰			φ=30～60mmの亜角礫を主体とする。マトリクスは粗中粒砂状、粘土分を混入。														
1	18.69	0.80	1.30		礫質土	暗灰	中位		φ=5～40mmの亜角礫を主体とする。マトリクスは粘土混じり砂状。礫種は泥質岩。														
2					強風化泥質岩	暗灰			泥質岩の強風化岩(礫質土と判定)。コアは粘土質砂礫～砂礫状を示す。円形状のコアはハンマの軽打にて容易に崩れる。岩級区分はD級の中でも最も低いDL級と判定。深度2.5～4.0m間、削孔中に孔壁崩壊があり掘進速度低下した。孔壁崩壊はケーシングを5.0mまで挿入して収束した。	9/1 3.37	1.15	2	4	5	11/30	11							8/30
3											1.45												
											2.15	6	10	12	28/30	28							
											2.45												
4	15.99	2.70	4.00								3.15	5	8	10	23/30	23							
											3.45												
											4.10	15	24	11/2	50/22	68							
5					強風化泥質岩	暗灰			泥質岩の強風化岩。コアは粘土質砂礫状を呈し破砕質である。5m以深、コア表面が粘土化し、ハンマ軽打にて容易に崩れる。岩級区分はD級であるが4m以浅と比べると締まっており DM級と判定。		4.32												
											5.15	17	21	12/4	50/24	63							
6											5.39												
											6.15	20	20	10/2	50/22	68							
	12.99	3.00	7.00								6.37												8/31
7											7.15	15	20	15/1	50/21	71							
											7.36												
8																							
9																							